

第2章 現状と課題

(1) 現状

① 菊浜学区の位置・立地状況

- ・ 菊浜学区は京都駅に近接し、北側には五条通、南側には七条通り、西側には河原町通が通っています。
- ・ 東側は鴨川に接し、学区のほぼ中央には高瀬川が流れており、市街地の中で水と緑を身近に感じられる貴重な空間が形成されています。



図 菊浜学区の位置・立地状況 (画像©2020google マップ)

②宿泊施設（旅館・ホテル・簡易宿所等）の立地状況

- ・菊浜学区は京都駅に近接する立地条件などを背景として、近年、宿泊施設が増加し、町内会の機能やまとまりが弱まっているところが見られるようになってきました。

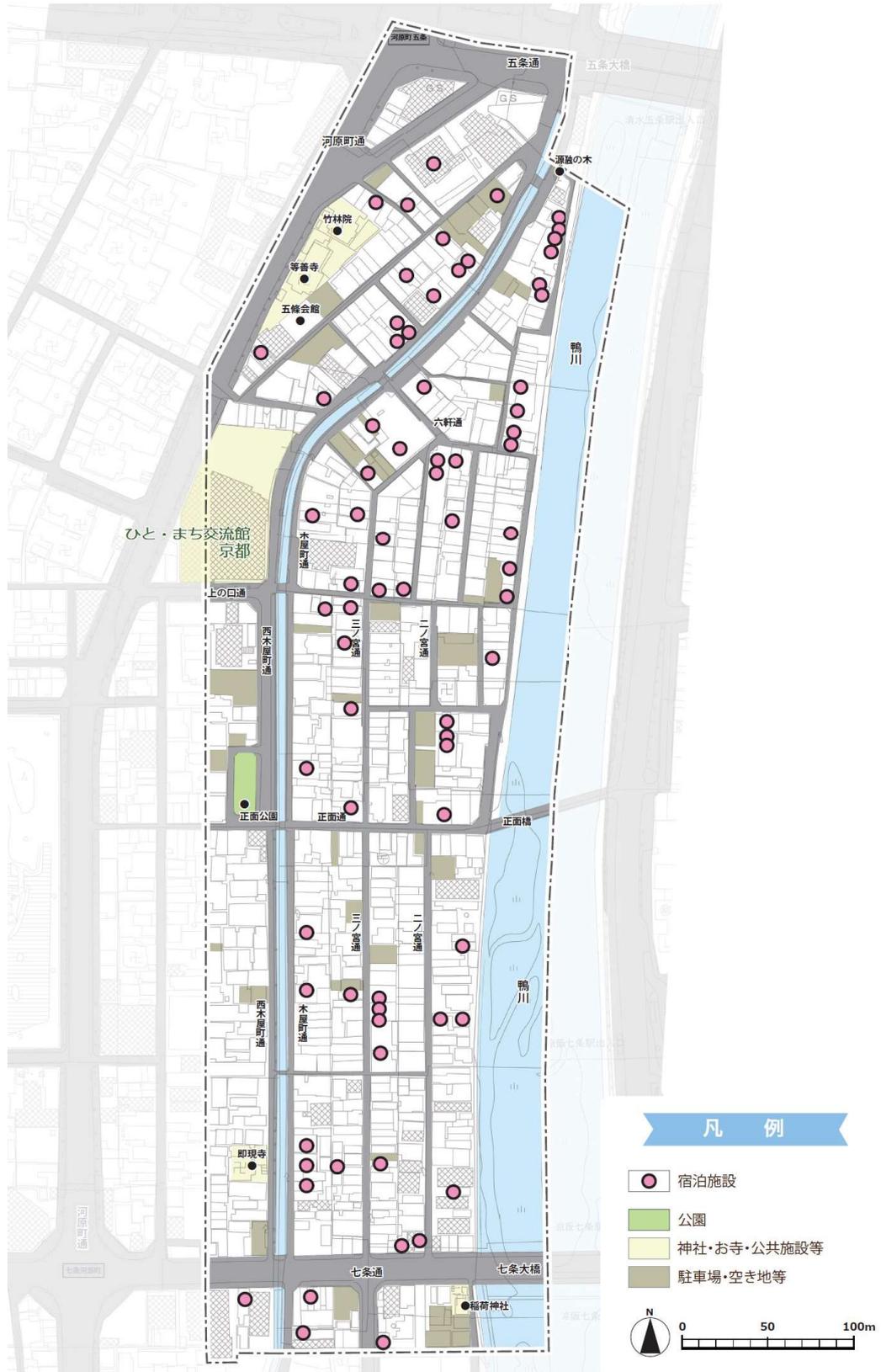


図 宿泊施設（旅館・ホテル・簡易宿所等）の立地状況

※京都市「旅館業法に基づく許可施設及び施設外玄関帳場一覧（令和元年12月末現在）」より作成
 ※営業実態が確認できない施設を除く。

- ③社会資源（菊浜のまちづくりに協力いただけるお店や事業所等）の立地状況
- ・菊浜学区には、様々な社会資源があり、令和元年度の「防災・福祉まちあるき」では、社会資源との繋がりづくりを目的に社会資源を訪問しました。

ご協力いただいた **菊浜の社会資源のみなさん** をご紹介します！

■菊浜ショートステイ

- ・福祉避難所に指定。
- ・菊浜の人が優先的に利用できなくても、地域にこのような施設があると心強い。
- ・施設見学は随時対応している。
- ・交流イベントがいろいろある。



■梅湯

- ・土日は朝風呂をしていて、好評である。
- ・外国人観光客も多い。
- ・学区の入口なので、灯りがともっていると、地域に元気を与えてくれる。賑やかで良い。



■ホテルグラッドワン京都七条

- ・宿泊者の災害時の緊急物資を備蓄している。
- ・ホテル前の広いスペースは災害時に活用できるかもしれない。



■京都七条米浜郵便局

- ・待合スペースは、疲れた時に立ち寄り、休憩する場所にもなる。
- ・認知症の方を関係機関に繋ぐ等の連携も実践。
- ・地域の取組にも協力。



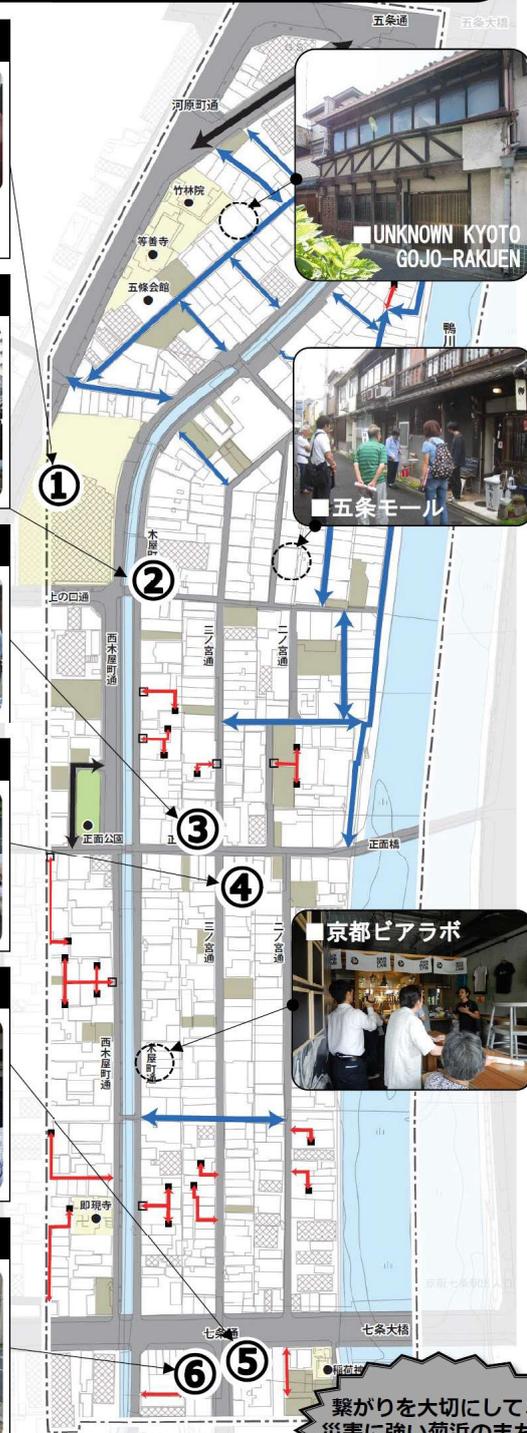
■中島商店

- ・日中の見守りの目にもなっている。
- ・おかずが安い。食べやすい。配達もしてくれる。年配の方、一人向けの方は利用しやすい。
- ・月曜日は定休日。



■セブンイレブン京都七条大橋店

- ・菊浜唯一のコンビニ。
- ・店内で、重い荷物を持つなど、買い物の手伝いをしてくれる。
- ・地域のお役に立ちたいという想いがある。



繋がりを大切にして、
災害に強い菊浜のまちを
つくっていきましょう！

2 2019.11 菊浜「防災まちづくり」ニュース 第5号

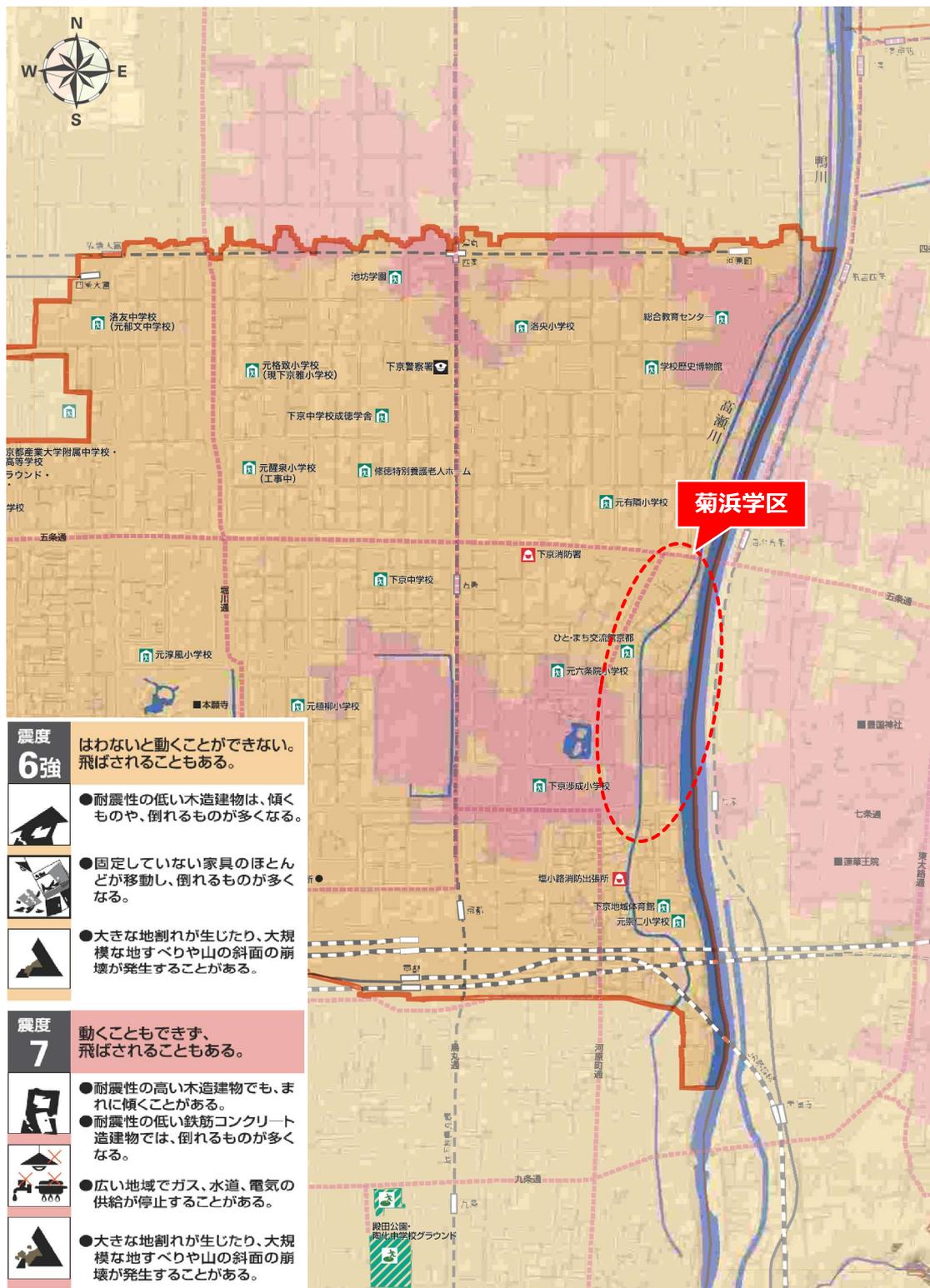
図 菊浜「防災まちづくり」ニュース 第5号 (2019.11 発行)

※令和元年度「防災・福祉まちあるき」で訪問した社会資源であり、菊浜学区内には菊浜のまちづくりに協力いただけるお店や事業所等が多くあります。

(2) 防災上の課題

①地震による被害

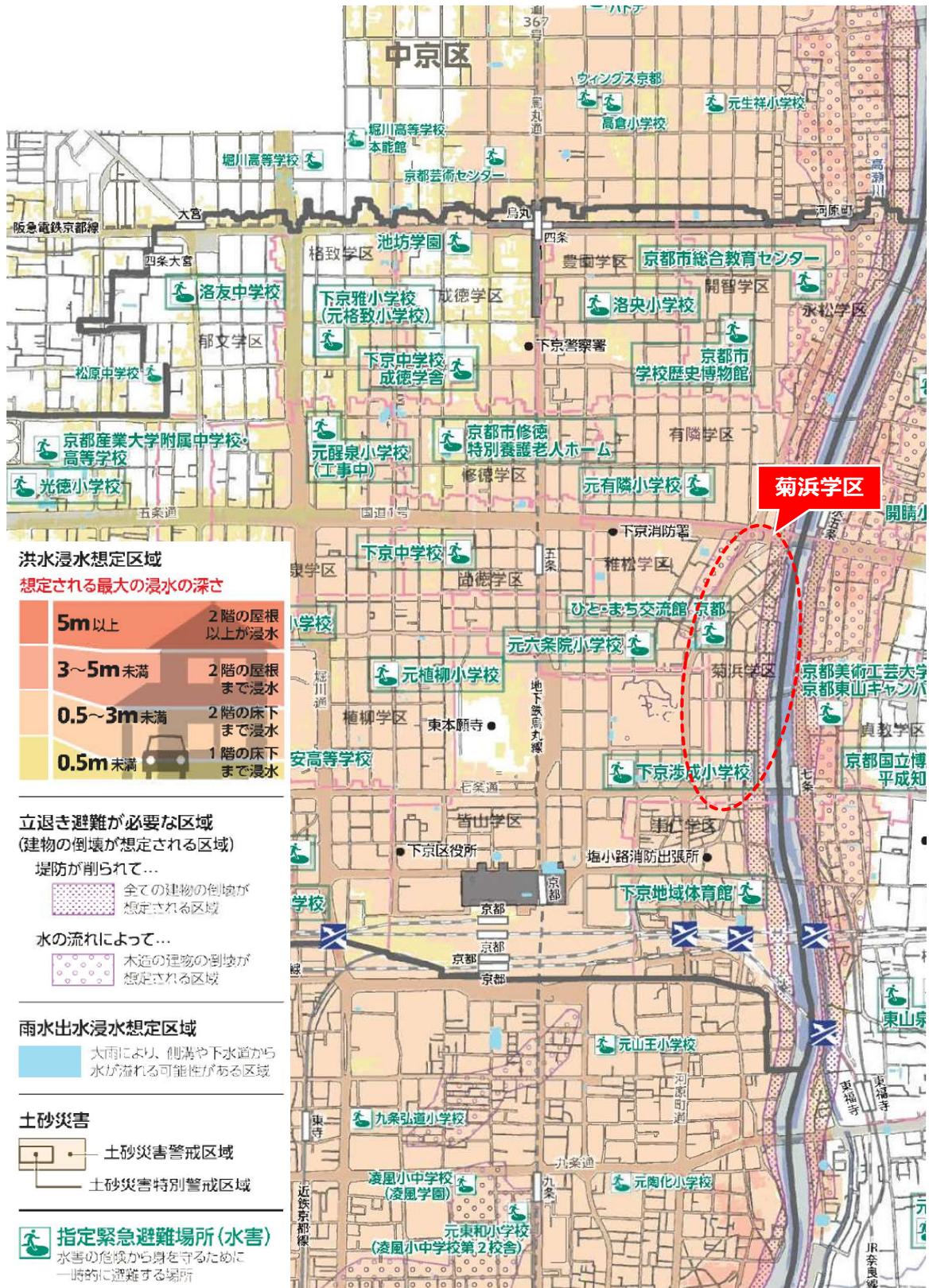
- ・花折断層地震が起こると、菊浜学区では、震度6強～震度7が予測されており、家屋の倒壊をはじめ、火災の発生、人的被害、ライフラインの機能停止など、大きな被害が想定されています。



【出典】京都市地震ハザードマップ（発行：平成31年4月）

②水害による被害

- 水防法によって国や京都府が指定する河川「桂川下流」「天神川」「鴨川・高野川」が氾濫した場合、菊浜学区では、浸水の深さが0.5～3m、場所によっては3～5mが予測されています。また、鴨川に沿って、立退き避難が必要な区域が位置付けられています。



【出典】京都市水害ハザードマップ（発行：平成31年4月）

③防災上の課題の整理

- ・現状や、地震や水害による被害想定、これまでの取組で頂いた住民のみなさんのご意見等を踏まえ、菊浜学区の防災上の課題として、以下のような点が整理できます。

「コミュニティ」に関する課題

- ・ゲストハウスやホテルなどが増える一方、菊浜学区で暮らす住民が減少しており、町内会のまとまりが弱まっているところが見られます。
- ・高齢者が増え、町内会や地域コミュニティに関わらない人も見られるようになっていきます。

【課題①】 町内会のまとまりが弱まり、高齢者や地域と距離を置く人が増えると、災害時の安否確認や円滑な避難、救出救護活動への影響が心配されます。

「いえ」に関する課題

- ・花街の雰囲気残り、風情ある町並みが見られる一方で、古い木造住宅が多く見られます。
- ・放置された管理不全状態の空き家があり、高齢化の進展により、今後も空き家が増加することが予測されます。
- ・地震に強い家づくりなど、自宅の耐震改修などに取り組む人は少ない状況です。

【課題①】 建物の倒壊により、自身の生命や財産だけでなく、安全な避難や緊急車両が侵入できないなどの危険性があります。

【課題②】 放置された管理不全空き家は、倒壊により、安全な避難に支障をきたす恐れがあります。

「みち」に関する課題

- ・五条通、河原町通、七条通の幹線道路が学区の外周を取り囲んでいますが、これらの内側では、幅員の狭い道が多く見られます。
- ・トンネル路地が、幾つか残っています。
- ・いろいろな物が置かれた道や段差のある道が見られます。

【課題①】 幅員の狭い道が多く、災害時に建物が倒壊すると避難経路がふさがれ、安全な避難が出来なくなったり、緊急車両の円滑な通行が難しく、災害時の対応に遅れが生じる可能性があります。

「まち」に関する課題

- ・学区の東側に鴨川が流れ、鴨川が氾濫した場合に堤防が削られて建物が倒壊する恐れがあります。
- ・学区の中央に高瀬川が流れ、学区の中心に正面公園が整備されていますが、日常的に住民が憩える公園や広場は少ない状況です。

【課題①】 鴨川が氾濫した場合、建物の倒壊など、大きな被害が発生する恐れがあります。

【課題②】 災害時の一時的な避難や火災の延焼を防止する空間が少なく、安全な避難や火災の延焼などの危険性が心配されます。